

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 8 月 8 日 (2013.8.8)

【公開番号】特開 2011-248041 (P2011-248041A)

【公開日】平成 23 年 12 月 8 日 (2011.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2011-049

【出願番号】特願 2010-120205 (P2010-120205)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 E

G 0 3 B 21/00 D

H 0 4 N 5/74 E

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 6 月 26 日 (2013.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 0】

ライトガイド L G (導光部材) は、光源部 L S 1 が発光した光源光を導光するものである。例えばライトガイド L G は、光源部 L S 1 からの光源光を曲線状の導光経路に沿って導光し、その形状は曲線形状になっている。具体的には図 9 (A) ではライトガイド L G は円弧形状になっている。なお図 9 (A) ではライトガイド L G はその中心角が 180 度の円弧形状になっているが、中心角が 180 度よりも小さい円弧形状であってもよい。ライトガイド L G は、例えばアクリル樹脂やポリカーボネートなどの透明な樹脂部材等により形成される。そして光源部 L S 1 からの光源光は、ライトガイド L G の一端側 (図 9 (A) では左側) の光入射面に入射される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 5】

$$G a / G b = (f a / f b) \cdot (I a / I b) \quad (5)$$

ここで $G a / G b$ は、受光部 R U での受光結果から特定することができ、 $I a / I b$ は、制御部 60 による照射部 E U の制御量から特定することができる。そして図 10 (A) の強度 $I N T a$ 、 $I N T b$ と減衰係数 $f a$ 、 $f b$ とは一意的関係にある。例えば減衰係数 $f a$ 、 $f b$ が小さな値となり、減衰量が大きい場合は、強度 $I N T a$ 、 $I N T b$ が小さいことを意味する。一方、減衰係数 $f a$ 、 $f b$ が大きな値となり、減衰量が小さい場合は、強度 $I N T a$ 、 $I N T b$ が大きいことを意味する。従って、上式 (5) から減衰係数の比 $f a / f b$ を求めることで、対象物の方向、位置等を求めることが可能になる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 8 】

また図 1 1 の光源部 L S 1 についてはライトガイド L G の一端側に設けると共に、光源部 L S 2 については第 2 のライトガイドの他端側に設ける。